

# アメリカでの留学生生活 vol.2

こんにちは。お元気ですか？

もうすぐクリスマスですね。こちらでは、ある人はクリスマスツリーをすでに飾ったとか… みんな気が早いです。

さて、今回は少し歴史の話から始めます。

1918年11月11日、ドイツとアメリカ合衆国が4年あまりにわたって続いていた第一次世界大戦の休戦協定を結びました。戦場となったヨーロッパ諸国のほとんどは、この日を祝日としています。ここミシガン州でも、Veteran's dayがあり、休日ではありませんが、戦死者の追悼式と退役軍人をたたえる日としています。

この日学校では、周辺に住む退役軍人に集ってもらい、生徒たちがアメリカをたたえる歌や演奏を披露しました。また、軍人たちに感謝への感謝をこめたスピーチをしていました。「軍人は、今私たちが持っている自由を勝ち取るために戦った。敬意を払うべき相手だ。感謝の気持ちを忘れないように。」という内容がほとんどでした。

ある生徒は、

Because of you I'm American.

Because of you I'm living now.

You prepare to fight.

You prepare to die … for me.

とっていました。

会場には約80人の退役軍人がいて、その中で4人が女性でした。

アメリカでは、軍人は退職した後に、階級に応じた退職金をもらいます。また、買い物や博物館の入場券等の割引券ももらえます。さらに、場所によっては、軍人であった証明としてのカードを見せると割引してもらえます。先日ホストマザーと動物園にいった、ホストマザーがそのカードをみせたら、入場料を\$7から\$5に安くしてもらえました。

(私のホストファミリーは、ふたりとも元軍人です。)

ついでですが、過去の戦争を忘れないように、という意味もあるのか、カレンダーには条約締結の日や戦争終結の日(たとえば Iraq War Ended 2011)がかかれています。

学校で行われた式典やその日の生徒の発言からは、アメリカがどれほど軍人を大切にしているかが感じられました。軍隊の存在になじみのない私には、その光景が少し異様なものにみえて、居心地悪く感じました。



次は、だいぶ前の話ですが、ハロウィンについてです。  
これは、老人ホームのハロウィンパーティーでボランティアをしたときのもの。  
ゾンビの恰好をしています。



これは、友達と近くの教会で Trick or Treat と Truck or Treat をしたときのもの。





お菓子をたくさんもらいました！



再来週の11月24日はThanksgiving Dayです。前日の23日は私の学校がなくて、25日はThanksgiving Dayの次の日なので、また学校は休みです。そして、26・27日は土日なので、5日間の連休です。朝寝坊ができる、いいスケジュールです。(笑)

See You Next Time ;)